

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-249052

(43)公開日 平成10年(1998) 9月22日

(51)Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	F I
A 6 3 F 7/02	3 5 4	A 6 3 F 7/02 3 5 4
G 0 6 K 19/00		G 0 6 K 19/00 Y
G 0 7 F 7/08		Q
		S

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 5 頁)

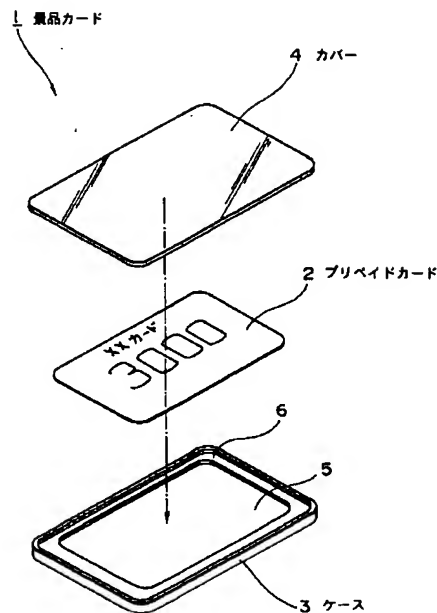
(21)出願番号	特願平9-58678	(71)出願人	000128485 株式会社オーイズミ 神奈川県伊勢原市鈴川7番地
(22)出願日	平成9年(1997) 3月13日	(72)発明者	大泉 政治 神奈川県伊勢原市鈴川7番地 株式会社オ ーイズミ内
		(74)代理人	弁理士 船橋 國則

(54)【発明の名称】 遊技場の景品カード

(57)【要約】

【課題】 換金額相当の市場価値のある物品を内蔵した景品カードであって、内蔵物品の市場価値が容易に認識できる景品カードを提供する。

【解決手段】 遊技場内で流通する景品としての景品カード1であって、現金に代替して使用できるカード2と、カード2を収納するケース3と、カード2を収納したケース3に分解可能に取り付けられて蓋をする透明なカバー4とからなることを特徴とする。



第1実施形態の分解斜視図

**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 遊技場内で流通する景品としての景品カードであって、

現金に代替して使用できるカードと、

該カードを収納するケースと、

前記カードを収納した前記ケースに分解可能に取り付けられて蓋をする透明なカバーとからなることを特徴とする遊技場の景品カード。

**【請求項2】** 前記ケースと前記カバーの封じ目に剥がすことにより不可逆変化を起こす封緘シールを貼着したことを特徴とする請求項1記載の遊技場の景品カード。

**【請求項3】** 前記ケースと前記カバーを透明なプラスチックフィルムを使用して包装し、ヒートシーリングによって封緘したことを特徴とする請求項1記載の遊技場の景品カード。

**【発明の詳細な説明】**

**【0001】**

**【発明の属する技術分野】** 本発明は遊技場内で流通する景品としての景品カードに関するものである。

**【0002】**

**【従来の技術】** パチンコ店などの遊技場では遊技者は遊技の結果に応じて、例えばパチンコの場合は遊技者の獲得したパチンコ玉の数、スロットマシンの場合は遊技者の獲得したコインの数に応じて景品が得られるようになっている。この景品には煙草や食料品あるいは家庭用品などの一般景品と換金所で換金することができる特殊景品とがある。この特殊景品は換金額が、例えば千円、三千円あるいは五千円のものというように数種類ある。そして、この特殊景品のひとつの形態としてカード型をした景品カードがある。図5は従来の景品カードを示す斜視図であり、景品カード31はその内部に例えばメダルのような物品（以下内蔵物品35）が内蔵されている。

**【0003】** 景品カード31は換金額を証明するための識別手段が必要であり、同時にこの識別手段は偽造されにくいものである必要がある。この識別手段としては景品カード31表面に設けられたホログラム32によるもの、景品カード31裏面に設けられた磁気データ33によるもの、景品カード31内部に埋め込まれたICチップ34によるものなどがある。さらに、図示しないが、バーコードによるものもある。そして、ホログラム32によるものが最も偽造防止の効果があるとされている。なお、図5は説明のために複数の識別手段を備えたものを示しているが通常は一つでもよい。

**【0004】**

**【発明が解決しようとする課題】** 近年来、上記の景品カード31に対して、内蔵物品35として換金額相当の市場価値のある物品を内蔵することが要求されるようになってきた。つまり、遊技者の希望により景品カード31を換金せずに、景品カード31から取り出した内蔵物品35を市場価値のある景品として得られるようにしたい

という要求である。この要求に対応するために、内蔵物品35として例えばメダルなどを内蔵する場合は、金や銀といった市場価値のある貴金属で製造されたメダルを内蔵することになる。しかしながら、上記の貴金属メダルを内蔵した景品カード31は、内蔵された貴金属メダルを見ただけでは貴金属メダルが換金額相当であると認識することができない。本発明の第1の目的は、換金額相当の市場価値のある物品を取り出し可能に内蔵した景品カードであって、内蔵物品の市場価値が容易に認識できる景品カードを提供することである。

**【0005】** さらに、換金額相当の内蔵物品35を内蔵した景品カード31は、内蔵物品35を景品カード31から取り出し、物品をすり替えて景品カード31を復元したあとと換金するといった不正行為が行われる危険をはらんでいる。本発明の第2の目的は、換金額相当の市場価値のある物品を取り出し可能に内蔵した景品カードであって、内蔵物品の市場価値が容易に認識でき、かつ上記した不正行為が防止できる景品カードを提供することである。

**【0006】**

**【課題を解決するための手段】** 上記課題を解決するため本発明はその構成を以下のようにした。すなわち、遊技場内で流通する景品としての景品カードであって、現金に代替して使用できるカードと、該カードを収納するケースと、前記カードを収納した前記ケースに分解可能に取り付けられて蓋をする透明なカバーとからなることを特徴とする。これにより、景品カードに内蔵された現金に代替して使用できるカードが景品カードの外側から確認できる。そして、内蔵されたカードはカバーを取り外して取り出すことができる。また、前記ケースと前記カバーの封じ目に剥がすことにより不可逆変化を起こす封緘シールを貼着したことを特徴とする。これにより、内蔵されたカードは封緘シールを剥がさなければ取り出せず、取り出したことが証拠として残る。そして、前記ケースと前記カバーを透明なプラスチックフィルムを使用して包装し、ヒートシーリングによって封緘したことを特徴とする。これにより、内蔵されたカードはプラスチックフィルムを破いて剥がさなければ取り出せず、取り出したことが証拠として残る。

**【0007】**

**【発明の実施の形態】** 本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1は本発明の第1実施形態の景品カードの構成を示す分解斜視図、図2は本発明の第1実施形態の景品カードの斜視図である。

**【0008】** 図に示すように、本発明の第1実施形態の景品カード1は市場価値のある内蔵物品として現金に代替して使用できるカード、例えばプリペイドカード2を使用する。そして、このプリペイドカード2、プリペイドカード2を収納するためのケース3、およびケース3に蓋をするためのカバー4から景品カード1は構成され

る。ケース3は、例えばプラスチックなどでカード状に成形する。そして、ケース3にはプリペイドカード2を収納するための収納部5とカバー4を嵌合するための嵌合部6とが形成される。また、カバー4は嵌合部6に嵌まり込む大きさに成形された透明の薄板で、例えばハードコートをしたポリカーボネイトなどの透明薄板を打ち抜いて成形できる。景品カード1はケース3の収納部5にプリペイドカード2を収納し、ケース3の嵌合部6とカバー4とを例えばゴム系エラストマーまたはアクリル樹脂などの粘着剤によって貼り付けて完成する。

【0009】景品カード1は上述のように内蔵物品がプリペイドカード2であり、プリペイドカード2にはその種類と市場価値が表示されている。そして、カバー4を透明としたので、図2に示すように、プリペイドカード2の種類と市場価値が景品カード1の外側から容易に認識することができる。

【0010】上記の景品カード1に内蔵されたプリペイドカード2は換金額相当の価値があり、現金に代替して使用できるものである。したがって、遊技者は景品カード1を市場価値のある景品として、つまりプリペイドカードとして使用することができる。この場合、遊技者は景品カード1からプリペイドカード2を取り出すことになるが、ケース3とカバー4は粘着剤で取り付けられているので、容易に取り外すことができる。

【0011】つぎに、第2実施形態の景品カードについて説明する。図3は第2実施形態の景品カードを示す。第2実施形態の景品カード11は第1実施形態の景品カード1同様にプリペイドカード12、ケース13、およびカバー14から構成される。ただし、図に示すように、ケース13とカバー14の封じ目に封緘シール17を貼着する。この封緘シール17は、例えば透明のシールに図柄が描かれた薄膜層を介在させて接着剤を付着し、剥がすときに接着剤とともに薄膜層がシールから剥離するようにしたものや、歪みが生じると変色する材料でシールを成形し、剥がすときにシールが変色するものなど、剥がすことにより不可逆変化を起こすシールを使用する。

【0012】景品カード11は上述のように内蔵物品がプリペイドカード12であり、プリペイドカード12にはその種類と市場価値が表示されている。そして、カバー14を透明としたので、プリペイドカード12の種類と市場価値が景品カード11の外側から容易に認識することができる。

【0013】上記の景品カード11に内蔵されたプリペイドカード12を市場価値のある景品として、つまりプリペイドカードとして使用する場合、遊技者は景品カード11からプリペイドカード12を取り出すことになる。このとき、遊技者は封緘シール17を剥がし、カバー14を取り外せばプリペイドカード12を取り出せる。しかも、封緘シール17は剥がすことにより不可逆

変化を起こし、復元できないので、使用済みのプリペイドカード12を景品カード11内に戻して換金するといった不正行為を防止することができる。

【0014】また、上記の景品カード11は封緘シール17によってケース13にカバー14の蓋をした状態を保てるので、第1実施形態のようにケース13とカバー14を粘着剤で貼り付けなくてもよい。

【0015】つぎに、第3実施形態の景品カードについて説明する。図4は第3実施形態の景品カードの部分断面図である。第3実施形態の景品カード21は第1実施形態の景品カード1同様にプリペイドカード22、ケース23、およびカバー24から構成される。ただし、図に示すように、ケース23とカバー24を透明なプラスチックフィルム27を使用して包装し、ヒートシーリングによって封緘する。

【0016】景品カード21は上述のように内蔵物品がプリペイドカード22であり、プリペイドカード22にはその種類と市場価値が表示されている。そして、カバー24およびプラスチックフィルム27を透明としたので、プリペイドカード22の種類と市場価値が景品カード21の外側から容易に認識することができる。

【0017】上記の景品カード21に内蔵されたプリペイドカード22を市場価値のある景品として、つまりプリペイドカードとして使用する場合、遊技者は景品カード21からプリペイドカード22を取り出すことになる。このとき、遊技者はプラスチックフィルム27を破いて剥がし、カバー24を取り外せばプリペイドカード22が取り出せる。しかも、プラスチックフィルム27は破いて剥がしたあとに復元できないので、使用済みのプリペイドカード22を景品カード21内に戻して換金するといった不正行為を防止することができる。なお、プラスチックフィルム27にミシン目などを設けて、より破きやすいようにしてもよい。

【0018】また、上記の景品カード21はプラスチックフィルム27の封緘によってケース13にカバー14の蓋をした状態を保てるので、第1実施形態のようにケース13とカバー14を粘着剤で貼り付けなくてもよい。

【0019】本発明の景品カード1、11、21はその利用形態として、異なる種類のプリペイドカード2、12、22を内蔵した景品カード1、11、21を多種に渡って揃えておき、遊技者が選択できるようにしてもよい。プリペイドカードの種類としては、例えば国際電話カード、テレホンカード、バス共通カード、ハイウェイカード、オレンジカードなどがある。このような多種のカードを揃えておくことにより、景品カード1、11、21を景品として充実させることができる。また、本発明の実施形態において、現金に代替して使用できるカードとしてプリペイドカード2、12、22を例に挙げたが、本発明はこれに限定されるものではない。つまり、

ケース3、13、23に収納できるカード状のものであれば、遊技場がデパートやコンビニエンスストアなどと提携し、提携先のデパートやコンビニエンスストアなどで商品購入用に使用できるようにした金券カードなどでもよい。

#### 【0020】

【発明の効果】以上説明してきたように本発明の景品カードは、現金に代替して使用できるカードと、該カードを収納するケースと、前記カードを収納した前記ケースに分解可能に取り付けられて蓋をする透明なカバーとからなる。このため、景品カードは現金に代替して使用できるカードの市場価値が景品カードの外側から容易に認識することができる。そして、遊技者はカバーを取り外せば、現金に代替して使用できるカードを取り出して使用することができる。また、前記ケースと前記カバーの封じ目に剥がすことにより不可逆変化を起こす封緘シールを貼着した場合、あるいは前記ケースと前記カバーを透明なプラスチックフィルムを使用して包装し、ヒートシーリングによって封緘した場合は、封緘シールやプラスチックフィルムを剥がして、現金に代替して使用できるカードを取り出すことになる。したがって、現金に代

替して使用できるカードを取り出したあとに封緘シールやプラスチックフィルムは復元できないので、使用済みのカードを景品カード内に入れて換金するといった不正行為を防止することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態の景品カードの分解斜視図である。

【図2】本発明の第1実施形態の景品カードの斜視図である。

【図3】本発明の第2実施形態の景品カードの斜視図である。

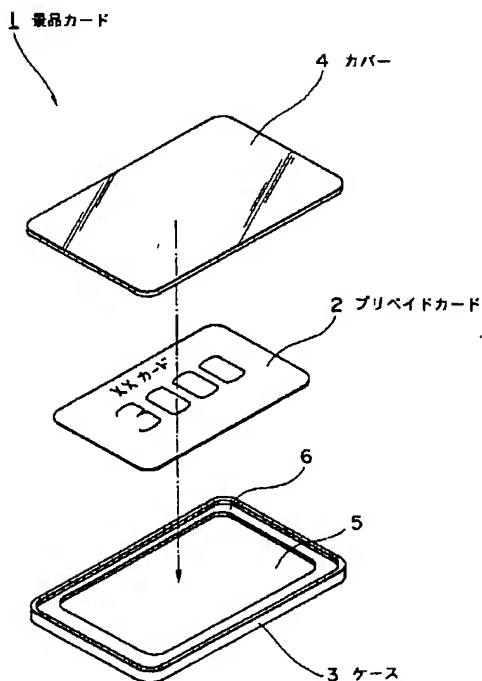
【図4】本発明の第3実施形態の景品カードの部分断面図である。

【図5】従来の景品カードの斜視図である。

#### 【符号の説明】

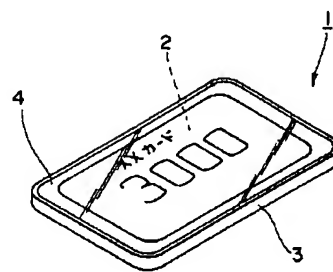
- 1、11、21 景品カード
- 2、12、22 プリペイドカード
- 3、13、23 ケース
- 4、14、24 カバー
- 17 封緘シール
- 27 プラスチックフィルム

【図1】



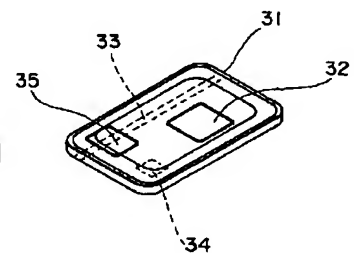
第1実施形態の分解斜視図

【図2】



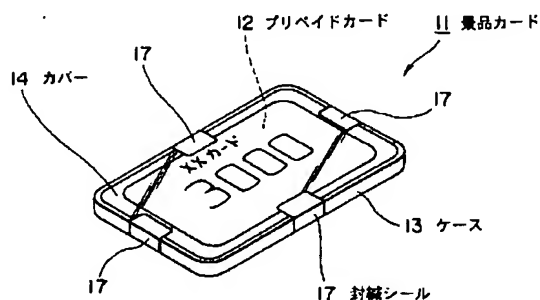
第1実施形態の斜視図

【図5】



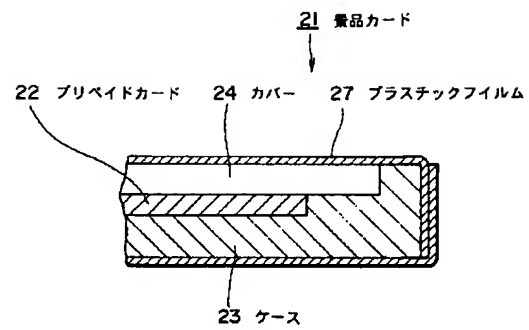
従来の景品カードの斜視図

【図3】



第2実施形態の斜視図

【図4】



第3実施形態の部分断面図